

キッツビュール・ハーネンカム大会観戦スキーツアー10日間

「白いサーカス」とも呼ばれるワールドカップアルペンスキー大会の中で、アスリート達にとっても特別な大会と言われる、キッツビュール・ハーネンカム大会。1976年この大会にてスラローム7位という成績を残し、その後の日本のアルペンスキーが躍進するきっかけを作ったと言われ、現在もレーシングスキーの指導にあたっているスキーヤー市村政美がご案内します。世界各国からサポーターが訪れ、盛り上がりを見せる大会観戦ツアーです。アルペンスキーの神髄を肌で感じ、アスリートの鼓動を直接感じることでできる貴重な体験となるでしょう。



(イメージ:スラロームゴールエリア 2014 年大会)

■ 旅行期間:2016年 1月21日(木)~1月30日(土)

■ 旅行代金: お一人様 597,000円 (1室2名様利用) ※1室1名様利用追加代金...148,000円

※上記、会費(旅行代金)の中には、「成田空港施設使用料」、「旅客保安サービス料」、「現地空港税」、「航空保険料」、燃油高騰に伴う「燃油特別付加代金」は含まれておりません(これらの合計約¥60,010は、ご請求時の為替レートにて変動がございます。実費を旅行代金に加算して請求させていただきます)。

※上記旅行代金には、裏面の日程表に明記された航空運賃、空港~ホテル間の送迎車手配代金、宿泊代金、日程表に明記された食事代金、市村政美同行諸費用、1/22入場料、1/23-24 VIP AREA チケット(ゴールエリアサイド・立ち席、飲み物&スナックサービス付)、1/25-27間の3日間のリフト券料金が含まれます。チップ等の個人的諸経費、旅行保険代金等は含まれておりません。

※短い日程でのご参加をご希望の方は、担当者までご相談下さい。

■ 最少催行人数:6名様 (定員16名様予定)

■ 利用予定航空会社:オーストリア航空、ルフトハンザドイツ航空、スイスインターナショナルエアラインズ、全日空他

■ 利用予定ホテル:キッツビュール Schloss Münichau または同等クラス、インスブルック 3~4ツ星クラス

■ 食事:朝8回、昼0回、夕8回 ※昼食は含まれておりません。

■ ツアーリーダー:市村政美が成田空港より同行いたします。

■ お申込み方法...お電話、FAX、Eメールにて、下記アトラストレックへお申込みください。

お申込書一式をお送りいたします。書類到着後、必要書類にご記入の上ご返送いただき、書類に記載された指定の口座へお申込金(お一人様5万円)をお振込みください。

旅行企画:スキー冬龍門

代表・市村政美 東京都調布市 1-14-42 TEL:042-481-2413 FAX:042-481-2410

<http://www.tohryumon.co.jp> Eメール ski@tohryumon.co.jp

旅行募集・実施 株式会社アトラストレック



観光庁長官登録旅行業第1167号 (社)日本旅行業協会正会員 旅行業務取扱主任者 舘野淳子

<東京> 〒160-0008 東京都新宿区三栄町25 三栄ハウス202 TEL (03)3341-0030 FAX(03)3341-9200

※この度のご旅行のお取り扱い、株式会社アトラストレック東京本社にて承ります。

担当:羽田(はた)、黒澤(くろさわ) Eメール info@atlastrek.co.jp

■ワールドカップ アルペンスキーの楽しみ方

アルペンスキー・ワールドカップ (Alpine skiing World Cup) は国際スキー連盟 (FIS) が 1967 年から毎冬実施しているアルペンスキー大会です。世界選手権、オリンピックと並ぶ重要な大会です。また、世界中を転戦することから「白いサーカス」とも呼ばれています。



(イメージ: SL スタート)

毎年 12 月から 3 月にかけて、約 10-20 試合を転戦します。各試合の上位者にはポイントが付与され、シーズン総合で最も多くのポイントを得た選手が年間総合優勝となります。

■キッツビュール ハーネンカム大会

2016 年で、第 76 回となる世界最大級のアルペンレースのひとつです。ウェンゲンのラウバーホルン大会と並ぶクラシックレースの一つです。また、ワールドカップでもっとも危険なダウンヒルとも言われています。通常であれば、大会日程は、金曜日: スーパー-G & スーパー・コンバインド (スーパー-G + スラローム 1 本)、土曜日: ダウンヒル、日曜日: スラロームとされています。

公式ウェブサイト <http://www.hahnenkamm.com>

■アルペンスキーレーサー市村政美氏が同行します。



市村 政美

(いちむら まさみ、1950 年 12 月 29 日生まれ) は、日本のアルペンスキー選手。1970 年代の日本スキー界で活躍した。(当時は) ヤマハ所属。群馬県利根郡水上町 (現在のみなかみ町) 出身。現在は競技スキーを専門とするスキースクール冬龍門の代表を務める。

【経歴】1972 年 札幌オリンピックに出場。大回転 3 分 15 秒 34 で 15 位、回

転 1 分 54 秒 83 で 17 位。1977 年 1 月 24 日 オーストリア・キッツビューエルで行われた FIS ワールドカップ男子回転第 5 戦ハーネンカム大会にて 7 位入賞の快挙を成し遂げた。当時、日本スキー界は世界の中でもジリ貧で、ワールドカップポイントは万年最下位であった。しかし、市村がこのすべりで 4 ポイントを得たことからこの年日本は最下位を脱出。今日の浮上への足がかりとなったのである。1978 年 スイス・サンモリッツ世界選手権に出場。回転 1 分 50 秒 63 で 26 位。

(参考: Wikipedia)

‘70~’78 全日本ナショナルチーム在籍

‘72 札幌冬季オリンピック代表

‘74 サンモリッツ世界選手権代表

‘76 インスブルック冬季オリンピック代表

‘76 キッツビュールワールドカップ SL7 位

‘76 ガルミッシュパルテンキルヘン世界選手権代表

‘79~’91 全日本ナショナルチーム、ジュニアコーチを歴任

(財)全日本スキー連盟公認技術代表/A 級セッター/正指導員

■ワールドカップ大会観戦の魅力

大会開催中のキッツビュールスキー場は、何万人というアルペンスキー・サポーターに観客席は埋まります。世界中のアルペンスキーファンとの交流や、地元キッツビュールスキー場や関係者のもてなしも魅力。公開ドローの盛り上がりを感じたり、最頂の選手を応援するもよし、日本代表の応援も欠かせない楽しみの一つ。同行する市村政美による、生の解説と、選手目線の世界レベルの大会観戦が楽しめる、かつてない旅のスタイルです。世界最高峰のレースを盛り上げる一員として赴き、選手の熱いアルペン魂を共有することができるのも魅力です。

■2016 年第 76 回ハーネンカムレースの見どころ!?

前年のハーネンカム大会の各種目の覇者の連覇なるか・・・、急成長中や注目選手の動向は・・・? 全日本ナショナルチームの挑戦はいかに・・・、などなど。

■キッツビュールスキー場



(イメージ: スラロームコース全景。画像下部の気球が待機している場所がダウンヒルコースのゴール前エリアです。)

キッツビュール (Kitzbühel) は、オーストリアのチロル州にある都です。キッツビュール郡の郡庁所在地。1931 年よりアルペンスキー・ワールドカップの中でも最も国際的に注目度の高い大会の一つであるハーネンカム大会が開催されるなど、オーストリアが誇るウィンタースポーツのメッカの一つとしても知られています。日本では "Kitzbühel" の綴りを基に「キッツビューエル」と呼ばれることもあるが、実際の発音はキッツビュール) である。

公式ウェブサイト <http://www.kitzbuehel.eu/>

■宿泊ホテル～市村氏が現役時に使用した宿



Schloss Münichau。選手時代の市村政美氏が投宿した宿が健在！大会会場からは少し離れた場所ですが、静かな環境が魅力なのと、かつての日本のアルペンスキーの黎明期に選手が過ごした時代を感じることができます。

ウェブサイト

<http://www.muenichau.com/en/hotel-kitzbuehel/the-hotel.html>

《 ワールドカップ・キッツビュール大会 2016 観戦ツアー 10 日間 》

NO	月日	都市名	時間	交通機関	摘要	食事
1	1月21日 (木)	成田空港発 ウィーン着 ウィーン発 インスブルック着 キッツビュール	12:15 16:10 17:15 18:15 夜	OS-052 OS-901 送迎車	空路、オーストリア航空他にて、ウィーン経由、インスブルックへ。到着後、送迎車にてキッツビュールへ移動します。 【ホテル泊】	--- 機食 夕食
2	1月22日 (金)	キッツビュール	午前 午後	(ｽｷｰ)	午前中、休養。午後よりキッツビュールのスキー場にてフリースキー。可能であれば、夕方公開ドロー会場に足を延ばします。 【ホテル泊】	朝食 --- 夕食
3	1月23日 (土)	キッツビュール	午前 午後	滞在	終日、 ワールドカップ大会の観戦（男子ダウンヒル他） へ。 【ホテル泊】	朝食 --- 夕食
4	1月24日 (日)	キッツビュール	午前 午後	滞在	終日、 ワールドカップ大会の観戦（男子スラローム他） へ。 【ホテル泊】	朝食 --- 夕食
5	1月25日 (月)	キッツビュール	午前 午後	スキー	終日、キッツビュールのスキー場にてフリースキー。 開会コース（ダウンヒルコース&スラロームコース） 滑走。 【ホテル泊】	朝食 --- 夕食
6	1月26日 (火)	キッツビュール 周辺のスキー場 キッツビュール	午前 午後	スキー 送迎車	半日スキー場に滞在。送迎車にて、周辺の別のスキー場へ移動します。 【ホテル泊】	朝食 --- 夕食
7	1月27日 (水)	キッツビュール 周辺のスキー場 キッツビュール	午前 午後	スキー	終日スキー。 【ホテル泊】	朝食 --- 夕食
8	1月28日 (木)	キッツビュール インスブルック	午前 午後	送迎車	朝食後、送迎車にてキッツビュールを後に、インスブルックへ移動します。到着後、市内観光。 【ホテル泊】	朝食 --- 夕食
9	1月29日 (金)	インスブルック発 ウィーン着 ウィーン発	11:15 12:20 13:10	OS-904 OS-051	朝食後、空港へ移動。空路、ウィーン経由、帰国の途へ。 【機中泊】	朝食 機食 機食
10	1月30日 (土)	成田空港着	08:25		成田空港に到着。通関後、解散となります。	機食 ---

* 天候等の現地事情により、交通機関、宿泊施設が予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

● 時間帯の目安

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
04 : 00	06 : 00	08 : 00	12 : 00	16 : 00	18 : 00	23 : 00
						04 : 00

ご旅行条件(要約)

★ お申込みの際には必ずこの条件書を十分お読み下さい。
本旅行条件書は、旅行業法第 12 条の 4 による取引条件説明書面及び同法 12 条の 5 による契約書面の一部となります。

●募集型企画旅行契約

- この旅行は株式会社アトラストレック(東京都新宿区三栄町25番地三栄ハウス202 観光庁長官登録旅行業 1167号・以下「当社」という)が企画、募集、実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。
- 募集型企画旅行契約の内容・条件は募集パンフレット・本旅行条件・出発前にお渡しする最終旅行日程表等の確定書面及び当社募集型企画旅行契約約款(以下「約款」という)によります。
- 確定した航空機の便名及び宿泊施設が記載された確定書面(最終日程表等)はご旅行開始日の5日前まで(ご旅行開始日の8日前以降にお申し込みの場合はご旅行開始日当日まで)にお渡し致します。

●旅行のお申し込み

- お申込金:お申し込みと同時にパンフレット裏表紙に明記された銀行へお振り込みいただけます。申込金は旅行代金をお支払いいただくときにその一部として繰り入れます。尚、申込金の受理を以て本旅行契約の成立とします。
- 当社は電話による募集型企画契約の予約申込みを受けることがあります。この場合、電話による予約申込みの翌日から起算して3日以内に申込書と申込金を提出していただきます。この期間内に申込書と申込金を提出されない場合、当社は申込みはなかったものとして取り扱う場合がございます。

●旅行代金のお支払い

- お申込金:お申し込みと同時にパンフレット裏表紙に明記された銀行へお振り込み下さい。なお、お申込書をご提出またはご予約いただいた営業所に対応した銀行へお振り込み下さい。

お申込金: ¥50, 000

- 残金は旅行出発日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日より前にお支払いいただけます。

●旅行代金に含まれるもの

- 旅行日程に明示した航空、船舶、鉄道等利用交通機関の運賃(コースにより等級が異なります。)
 - 旅行日程に明示した送迎バス等の料金(空港・駅・埠頭と宿泊場所)
 - 旅行日程に明示した観光の料金(バス料金・ガイド料金・入場料)
 - 旅行日程に明示した宿泊の料金及び税・サービス料金(2人部屋に2人ずつの宿泊を標準とします)但し、コースにより民宿、ロッジ、テント、山小屋などとなります(コースごとに明記)。
 - 旅行日程に明示した食事の料金・税・サービス料金
 - 手荷物の運搬料金(運輸機関の定める規定重量、容積、個数の範囲)
 - 団体行動中の心付け、チップ
 - ツアーリーダー付コースのツアーリーダー同行費用
 - その他、旅行日程に明記した費用
- ※上記諸費用はお客様のご都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●旅行代金に含まれないもの

- 前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
- 渡航手続諸費用(旅券印紙代、査証料、予防接種料金、傷害・疾病保険料及び渡航手続取扱料金等)
 - 超過手荷物料金(規定の重量・容量・個数を超える分について)
 - クリーニング代、電報・電話料、ホテルのボーイ・メイド等に対するチップ、その他追加飲食等個人的性質の 諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
 - お1人部屋を使用される場合の追加料金
 - お客様の傷害疾病に関する医療費
 - 日本国内の空港施設使用料
 - 日本国内におけるご自宅から発着空港までの交通・宿泊費
 - 旅行日程中の空港税等(日本国内通行税を含む)
 - 添乗員
 - 希望者のみ参加するオプション・ツアー(別途料金の小旅行)の料金

●お申込み締切日 各出発日の 30 日前 (ただし満員になり次第締切らせていただきます。)

●最少催行人員 各コースに記載

最少催行人員に達しない場合は旅行を中止することがあります。ただし、旅行前日から起算してさかのぼって23日目にあたる日より前までにお客様にその旨を通知した場合に限ります。

●取消料

お申込み後、お客様の都合で参加を取消される場合、次の取消料をお支払いいただきます。
別表1【海外旅行にかかる取消料】
※取消料の算定基礎となる旅行代金とは一人部屋追加代金、延泊による宿泊料金、航空機の等級変更による差額料金・運賃等の追加代金を含めた合計額です。
※ピーク時とは12月20日～1月7日発、4月27日～5月6日発、7月20日～8月31日発を指します。

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日がピーク時(※)の旅行であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって 40 日目～31 日目	旅行代金の 10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって 30 日目～3 日目	旅行代金の 20%
旅行開始日の前々日、前日、当日	旅行代金の 50%
旅行開始後の解除又は、無連絡不参加	旅行代金の 100%

※下例の場合、取消料をお支払いいただくことなく参加を取り消すことができます。(一部例外)

- ①旅行契約内容に以下に例示する重要な変更が行われたとき。
- 旅行開始日又は終了日の変更
 - 入場する観光地、観光施設、その他の旅行目的地の変更
 - 運輸機関の種類又は運送会社の変更
 - 運送機関の「設備及び等級」のより低いものへの変更
 - 宿泊施設の変更又は宿泊施設の種類の変更

- 宿泊施設の客室の種類・設備・景観の変更
- 旅行代金が増額された場合
- 当社が確定日程表を表記の日までに交付しない場合
- 当社の責に帰すべき事由により、当社の旅行日程通りの実施が不可能となったとき。

●ご旅行条件・ご旅行代金の基準

このご旅行条件及びご旅行代金は2014年12月16日を基準としております。また、旅行代金は2014年12月16日以降に出発する旅行に適用する運賃として予定されている航空運賃・適用規則を基準としています。

- 当社は旅行契約締結後であっても、次の場合には旅行代金を変更させていただきます。
- 利用する運輸機関の運賃・料金が改訂されたときは、その改訂差額だけ旅行代金を増額変更するときは、旅行開始日の前日から起算して、さかのぼって15日目にあたる日より前にお客様に通知します。
 - 前項により旅行内容が変更され、旅行実施に要する費用が増額、又は減少したときは、当社はその変更差額だけ旅行代金を変更します。
※参加者が定員に達しない場合は催行中止もしくは出発日が変更になる場合がございます。

《お申込み条件》

15歳未満の方のご参加は、父兄又は保護者の同行を条件とします。(但し、一部コースは除きます。)15歳以上18歳未満の方のご参加は、父兄又は保護者の同意書が必要です。75歳以上の方は健康診断書の提出をお願い致します。場合によっては、ご参加をお断りさせていただくか、同伴者の同行を条件とすることがあります。

●当社の責任及び免責

- 当社は募集型企画旅行契約の履行にあたって、当社または当社が手配を代行させる者の故意または過失により、お客様に損害を与えたときは、お客様が被られた損害を賠償します。但し、目的地の固有の事情により、法律上又は事実上手配代行者の選択の余地がない場合において、当社がパンフレットに手配代行者を明示したときは、当該代行者の行為については責任を負いません。
- お客様が次に例示するような事由により、損害を被られた場合において当社は本項1.の責任を負いません。但し、当社あるいは当社が本項1.に基づいて責任を負う手配代行者の過失が証明されたときは、この限りではありません。
●天災地変、戦乱、暴動、又はこれらのために生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止。
●運輸、宿泊機関等の事故もしくは火災又はこれらのために生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止。
●日本又は外国官公署の命令、外国の出入国規制、伝染病による隔離又はこれらによって生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止。
●自由行動中の事故。
●食中毒。
●盗難。
●運輸機関の遅延、不通、スケジュールの変更・経由変更など、又はこれらによって生じる旅行日程の変更、目的地、滞在時間の短縮。
3. 手荷物について生じた本項1. の損害については、損害発生日の翌日から起算して21日以内に当社に対して申し出があった場合に限り、賠償します。

●特別補償

当社は(当社の責任及び免責事項)の項の規定に基づく当社の責任が生じるか否かを問わず特別補償規定(当社営業所に備えてあります。)の定めるところにより、お客様がご旅行参加中にその生命、身体又は手荷物の上に被った一定の損害について、あらかじめ定める額の補償金及び見舞金をお支払いします。
この補償金支払いの後、当社が前項1. の責任を負うこととなったときは、この補償金は当社が負うべき損害賠償金の一部(又は全部)に充当いたします。

●その他

ここに記載のない事項については、当社旅行業約款(募集型企画契約)によります。当社旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。

●旅程管理

旅行中に旅程管理業務を行う現地手配業者等の連絡先は、最終日程表等の確定書面にてお知らせ致します。

●旅程保証

- 旅行日程に別表1の※に掲げる重要な変更が行われた場合は、旅行約款(募集型企画契約)に規定により、その変更の内容に応じて旅行代金の1%～5%に相当する額の変更補償金を支払います。ただし、一旅行契約について支払われる変更補償金の額は旅行代金の15%を限度とします。また、一旅行契約についての変更補償金の額が 1000 円未満の場合は、変更補償金は支払いません。変更補償金に算定基礎となる旅行代金とは、一人部屋追加代金、延泊による延泊料金、航空機の等級の変更による差額運賃・料金等の追加代金を含めた合計額です。
- パンフレットまたは募集要項に表示した旅行日程に含まれる、航空便などの運送機関の乗継地・経由地は、前記1. の旅程保証の対象となる「旅行目的地」には含まれません。
- パンフレットまたは募集要項に含まれるハイキング、トレック及び登山活動の行程は、全て一般的なモデル行程であり天候などの現地状況、およびご参加のいただいたお客様の体調などによって必要に応じて変更される場合がございます。これらのハイキング、トレック及び登山活動の行程中に表記された地名や宿泊地は前記1. の旅程保証の対象となる「旅行目的地」には含まれません。

■海外旅行保険加入のすすめ

お客様が旅行中破られた損害は当社または運輸機関により補償されない場合があります。また、補償請求の相手方が外国の運輸機関、各種施設あるいは個人等の場合は賠償をとりつけるのは容易ではありません。国情により賠償額が非常に少ないこともございます。従いましてお客様ご自身及び携行品等には必ず保険をかけられるようおすすめします。詳細は当社係員におたずね下さい。